

無償ポスター掲示



真鶴駅地下道入口



伊豆箱根バス

小田原地域事務所は、「平素から地域とのつながりを重視して、貴重な情報を獲得し広報を展開していく」としている。

真鶴町については、6月の募集相談員の委嘱式において、真鶴町長から提案があり、地下連絡通路にポスターを掲示できるようにしたものである。また、この際、町の公用車のステッカー掲示についても提案があり、マグネット式ステッカーが完成次第掲示できる予定である。伊豆箱根バスについては、伊豆箱根根道（大雄山線）の協力により、管区長から伊豆箱根バスの小田原管轄所長の紹介を受け、所長の裁量によりバス内に自衛官募集のポスターを無償で掲示できる運びとなったものである。



地下道内ポスター



車内ポスター

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 林一陸尉）は、真鶴町及び伊豆箱根バスにおいて、無償ポスターを掲示した。

募集相談員会部隊研修支援



予科練二人像の前で記念撮影

横浜中央募集案内所は、「今後も、募集相談員会と連携を図り、より多くの方々に国防の重要性や自衛隊の必要性に理解を深めていきたい」としている。

今回の研修で相談員は、土浦駐屯地の概要と歴史について理解を深め、今後の募集協力に活かしていきたいと話していた。

土浦駐屯地は、武器に関する教育を行う陸上自衛隊武器学校が駐屯しており、主要な火器類が保管・展示されている。又、戦前から戦中は霞ヶ浦海軍航空隊が開隊されていた土地であり、昭和14年からは飛行予科練習生、通称「予科練」が、神奈川県横須賀市からこの地に移転し、終戦まで全国から志願・入隊した予科練生の教育・訓練を実施してきた。

予科練習生、通称「予科練」が、神奈川県横須賀市からこの地に移転し、終戦まで全国から志願・入隊した予科練生の教育・訓練を実施してきた。

予科練習生、通称「予科練」が、神奈川県横須賀市からこの地に移転し、終戦まで全国から志願・入隊した予科練生の教育・訓練を実施してきた。

予科練習生、通称「予科練」が、神奈川県横須賀市からこの地に移転し、終戦まで全国から志願・入隊した予科練生の教育・訓練を実施してきた。

予科練習生、通称「予科練」が、神奈川県横須賀市からこの地に移転し、終戦まで全国から志願・入隊した予科練生の教育・訓練を実施してきた。

自衛隊神奈川父兄会員部隊研修支援



土浦駐屯地の広報官の説明を聞く父兄会員

予科練記念館「雄翔館」や武器展示室を見学したほか、父兄会員の中のご子息が現部隊で携わっているFH70（155mm榴弾砲）の見学や説明も受けることができた。参加者からは、「大変有意義な時間を過ごすことができた」という声も聞くことができた。

予科練記念館「雄翔館」や武器展示室を見学したほか、父兄会員の中のご子息が現部隊で携わっているFH70（155mm榴弾砲）の見学や説明も受けることができた。参加者からは、「大変有意義な時間を過ごすことができた」という声も聞くことができた。

予科練記念館「雄翔館」や武器展示室を見学したほか、父兄会員の中のご子息が現部隊で携わっているFH70（155mm榴弾砲）の見学や説明も受けることができた。参加者からは、「大変有意義な時間を過ごすことができた」という声も聞くことができた。

予科練記念館「雄翔館」や武器展示室を見学したほか、父兄会員の中のご子息が現部隊で携わっているFH70（155mm榴弾砲）の見学や説明も受けることができた。参加者からは、「大変有意義な時間を過ごすことができた」という声も聞くことができた。

予科練記念館「雄翔館」や武器展示室を見学したほか、父兄会員の中のご子息が現部隊で携わっているFH70（155mm榴弾砲）の見学や説明も受けることができた。参加者からは、「大変有意義な時間を過ごすことができた」という声も聞くことができた。

予科練記念館「雄翔館」や武器展示室を見学したほか、父兄会員の中のご子息が現部隊で携わっているFH70（155mm榴弾砲）の見学や説明も受けることができた。参加者からは、「大変有意義な時間を過ごすことができた」という声も聞くことができた。

予科練記念館「雄翔館」や武器展示室を見学したほか、父兄会員の中のご子息が現部隊で携わっているFH70（155mm榴弾砲）の見学や説明も受けることができた。参加者からは、「大変有意義な時間を過ごすことができた」という声も聞くことができた。